

2002年度1学期中間考査 現代史B 問題用紙

2001.6.4実施

I. 以下の文中の () は語群から選び記号で、[]は自分で考えそれぞれ適語をいれよ。また下線部についての設問に答えよ。

ユダヤ人とは、2000年前ごろまでパレスティナに住んでいた(A)人の末裔であり、(B)教の信者である。かれらは前15世紀ごろこの地に定着し、その際、彼らの先祖は、神が「この地をあなたの子孫に与える」と約束をしたと聖書に記されている。だから今も彼らはこの地を[1]と考えている。

前11世紀末、彼らは王国をうちたて、前10世紀には繁栄期を迎えたが、のち二つに分裂、人々はバビロンに強制連行されるという苦難の歴史を歩んだ。しかしこうした苦難の中でかれらをささえたのは、自分たちこそが[2]であると考えあり、いつか[3]が自分たちを救ってくれるという信仰であった。

ユダの人たちは、前6世紀パレスティナに戻り(C)の町に神殿を建てたが、この地は前2世紀ごろに(D)の支配を受けた。これにたいし、自らの神だけを信じ、救世主の復活を信じる彼らはその支配をよとせず何度も反乱を繰り返し、ついに後1世紀中期、決定的な敗北を喫し、この地をおわれ、世界に離散していった。このことを[4]という。しかし離散した彼らは、ヨーロッパおよびそれ以外の地でも、彼らの信仰を捨てず、周辺のキリスト教世界とは違った信仰を持ち続けた。しかし ①かれらは中世以来、迫害を受けつづけ、第二次大戦中には[5]による大虐殺(ホロコースト)を経験することになる。

これに対し、②(E)教はユダヤ教やキリスト教の影響を強く受け、ムハンマドが開いた宗教である。かれの死後、アラビア半島を中心に住んでいた信者の(F)人たちは西アジアから北アフリカへの征服戦争を進め、パレスティナもその中に組み入れられていった。

13世紀末に小アジア(アナトリア半島)で成立した(G)人の国オスマン帝国は急速に発展、西アジア・東ヨーロッパ・北アフリカを支配する大帝國となり、この地域もその支配下におかれるようになった。この国は巧みな統治によって安定した支配がつづいていたが、19世紀になると「ムハンマドにもどれ」とく[6]主義が生まれ、自立をめざす(E)人の動きと結びつくようになっていた。またイギリスをはじめとする列強の動きも活発化してきた。

(ア)アラブ (イ)エルサレム (ウ)トルコ (エ)ユダヤ (オ)ローマ (カ)イスラム

①中世以来ユダヤ人はなぜヨーロッパで迫害され続けたのか、その理由を2点以上記しなさい。

- ②この宗教とユダヤ教・キリスト教の関係について記した以下の文について誤りを含むものを1つ選べ。
- (ア)この宗教はユダヤ教のモーセ、キリスト教のイエスなどを「不十分な預言者」と位置づけている。
 - (イ)この宗教の神はアツラーであるが、ユダヤ教やキリスト教の神とは同じものと考えている。
 - (ウ)この宗教では、旧約聖書も新約聖書は誤りであると主張している。
 - (エ)これら三つの宗教は唯一絶対の神を認めると言うことでは共通である。
 - (オ)エルサレムの町はこの三つの宗教すべての聖地である。

II. 以下の文中の[]に語群から選び記号で適語をいれよ。また下線部についての設問に答えよ。

19世紀末フランスでユダヤ人将校が無実であるにもかかわらずドイツのスパイとして捕らえられ有罪とされるという[1]事件が発生、ロシアでは[2]とよばれるユダヤ人の虐殺がつづくなか、社会主義者のユダヤ人ヘルツルが①シオニズム運動をおこした。

1914年にはじまった第一次大戦は、中近東にとってもユダヤ人にとつても大きな転機となった。戦争に際し、イギリスが②相矛盾する3つの条約などを結んだため、国際的な混乱が発生することになった。とくに1917年イギリスがユダヤ人たちにむけて発した[3]宣言はこの地の混乱を激化させ、③ユダヤ人とアラブ人との対立が激化していった。こうしたなか、イギリスは妥協策としてヨルダン川の東側に[4]というアラブ人国家の建国を認めた。

パレスティナをめぐる対立は第二次大戦後いっそう激化していった。こうしたなか、イギリスは1947年パレスチナの委任統治の放棄を決意、これをうけ国際連合は④パレスティナ分割案を可決した。これをうけパレスチナ各地でユダヤ人とアラブ人との衝突が発生、パレスチナは事実上戦乱状態に陥った。このような中でイギリス軍は期限の3カ月前に撤退、[5]共和国が成立した(1948年)。これに対しこの国を認めない[6]諸国がパレスチナに侵入、⑤パレスティナ戦争(第一次中東戦争)が発生した。

(ア)ポグロム (イ)イスラエル (ウ)トランス=ヨルダン (エ)バルフォア (オ)アラブ連盟 (カ)サイクス=ピコ

①シオニズム運動とはどのような運動ですか。簡潔に述べなさい。

②この条約について記した文を二つ選べ

- (ア)イギリスが、中東地区におけるアラブ人の国家樹立を支持する。
- (イ)オスマン帝国がこの地域の支配を続けることを認める。
- (ウ)民族自決の立場に立って、中東全地域で住民選挙を行い、その未来を決める。
- (エ)この地域にキリスト教の国を樹立する。
- (オ)イギリスとフランスなどがこの地域を分割支配するという。

③具体的にはどのような事が起こったため対立がはじまったのですか。

④この内容は人口的には少ないユダヤ人がアラブ人より広い土地を得るといようにユダヤ人にとって有利な内容でした。その背景にはアメリカがこの分割案を強く推したという事情があります。なぜアメリカはこのような態度をとったのですか。簡単に記しなさい。

⑤この戦争の結果について記した以下の文で誤りを含むものを選びなさい。

- (ア)戦争はイスラエルの勝利に終わった。
- (イ)イスラエルは国連分割案よりも広い領土を奪った。
- (ウ)ヨルダン川西岸地域はヨルダンが獲得した。
- (エ)ガザ地区はエジプトが獲得した。
- (オ)エルサレムは東西に分割され、聖地のすべてはイスラエルの支配地域に含まれることになった。
- (カ)この戦争の結果、パレスティナ地域のアラブ人の2/3が難民となった。

Ⅲ.以下の文中の()は語群から選び記号で、[]は自分で考え、それぞれ適語をいれよ。また下線部についての設問に答えよ。

①第3次中東戦争の惨敗以後、②パレスティナゲリラの活動はおりからの世界のベトナム反戦運動などとむすびつき一挙に活発化した。しかし過激な運動は世界の世論の反発を買う結果にもなった。

1973年発生した第4次中東戦争は状況を一変させた。イスラエル側は軍事的にもいったん窮地におちいり、またアラブ側の発動した[1]は世界を震撼させ、世論をアラブよりにさせた。こうした情勢を背景に、1974年アラブ首脳会議は、③PLOをパレスティナ人代表として承認し、翌年には国際連合もPLOのオブザーバー資格を与えるにいたった。

こうしたなか、エジプトの(A)大統領は④大胆な路線変更を打ち出し、(B)の返還に成功した。しかし⑤こうした路線変更にはアラブの側でも強い異論が出された。またパレスティナの人々も投石などでイスラエルに対抗する(C)と呼ばれる運動を進めた。

1990年の⑥湾岸戦争の発生はパレスティナをめぐる情勢を大きく変化させた。1993年9月、北欧の(D)はイスラエルとPLOの仲介をすすめ、ついに画期的な[2]合意を実現、米大統領の立会でパレスティナ暫定自治協定の調印のこぎつけた。これをうけ1996年1月にはパレスティナ暫定自治政府が成立、[3]が議長に就任した。しかしこうした動きは、⑦イスラエル・パレスティナ双方から強い反発を受けるものであった。

(E)などイスラエルの右派勢力は、和平や占領地区からの撤退に反対し、パレスティナの過激派勢力(F)などはイスラエルを承認すること自体に反対し、⑧自爆テロなどによって、和平プロセスの破壊をめざした。これにたいして1999年5月、イスラエルで労働党政府が成立すると、和平への動きが活発化し、双方は最も和平に近づいたと認識するまでにいたった。こうした動きを破壊する役割を果たしたのが現イスラエル首

相である[4]である。かれは2000年9月(G)のイスラム人地域に武装して侵入、和平反対を唱えた。これにたいしパレスティナ過激派は自爆テロで応酬、こうした自体を背景に 2001年2月の総選挙で[4]が首相に当選、和平を中断、自爆テロに対する力による報復を強化、自爆テロと報復の連鎖がエスカレート、とくに2001年9月の[5]以後、イスラエルは自らの報復をテロに対する戦いの一環と主張し、⑨攻撃をエスカレート化している。

- (ア)ベギン (イ)ナセル(ウ)リクード (エ)ゴラン高原 (オ)シナイ半島 (カ)サダト (キ)イエルサレム
- (ク)スウェーデン (ケ)ハマス (コ)ファタハ (サ)インティファダ (シ)ノルウェー

①第3次中東戦争について正しく記したものをあだけ選べ。

- (ア)エジプトがスエズ運河を国有化したことをきっかけに発生した。
- (イ)アラブ側はユダヤ教の祭日をねらって奇襲攻撃をおこなった。
- (ウ)戦争は国際世論の反発でイスラエル側が撤退した。
- (エ)戦争はわずか6日でイスラエルの圧勝に終わった。
- (オ)イスラエルは国連決議を無視して、占領地域に入植地を建設したため、国連の経済制裁を受けた。

②この時期、パレスティナゲリラが引き起こした事件を2つ記しなさい。

③PLOの正式名称を言いなさい。

④具体的にはどのように変更したのか。もとの路線と、新たな路線を比較して記しなさい。

⑤こうした路線変更に対して反発した勢力が1981年起こした事件とは何ですか。

⑥湾岸戦争について記した以下の文の空欄に適語を入れよ。

[1]大統領率いる[2]が、隣国[3]の領有権を主張し侵攻したことに対し、アメリカをはじめとし[4]やシリアなどアラブ諸国も加えた多国籍軍がこの国を攻撃、侵攻地から撤退させた戦争。

⑦イスラエルの側での和平反対を象徴する1995年11月発生した事件とは何か。

⑧自爆テロを実行した人がそのような決意をした背景について、授業で見た新聞記事をもとに記せ。

⑨イスラエルではこのようなやり方に対して兵役拒否の動きが若者を中心に広がっている。かれらの考え方を説明せよ。